

海洋プラスチックごみ (海岸漂着ゴミ)

近年、海洋におけるプラスチックごみが大きな環境問題となっています。この問題を海から離れた場所でも体感してもらえるよう、実際の浜で採集したプラスチックごみを教材として提供します。授業や個人探究の資料としてお役立てください。

- ペットボトルサイズのものから、マイクロプラスチック (5mm以下のもの) まで、リクエストに応じて準備します。
提供形式や量などは以下の提供例の写真を参考にしてください。
- 採集地点の地図情報や収集時の写真などのリクエストにも応じます。
- 使用後は各自治体のルールに従って処分してください。



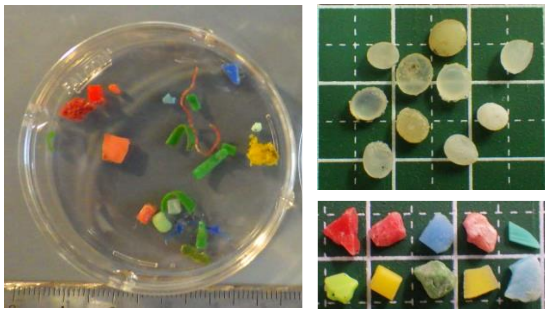
ペットボトルサイズのゴミ

研究所周辺に漂着したものだけでなく、沖縄に漂着した海外産のもの (左写真) を取り寄せることも可能です。
その場合は準備期間として1-2ヶ月程度の余裕をもってお知らせください。



10 cm ~ 5mm くらいのサイズのゴミ

チャック付きの袋に入れて提供します。
断片化が進む前で元の姿が想像できるもの、ある程度断片化が進んでいるもの、などの希望がある場合は申込書の備考欄に記入をお願いします。



マイクロプラスチック (5 mm以下)

20-30個を密封シャーレに入れた状態で提供します。シャーレは爪の部分を押さえると開閉できます。

5 mm前後のレジンペレット (写真右上) もここに含みます。



お茶大サイエンス&エデュケーション研究所(ISE)による株式会社カネカとのコラボ教材を用いた海洋プラスチックごみ問題関連の授業支援も行っています。こちらのページ (右QRリンク先) もご参照いただき、両方を組み合わせた授業展開もご検討ください。